

1Day for Others プログラム概要 【2】世界・環境を支える活動を体験！【ボランティア(国際協力・自然・環境など)】

プログラムNo.	19	プログラムNo.	20
<b>プログラム概要</b>		<b>プログラム概要</b>	
受入先名称	国連ウィメン日本協会よこはま (旧UN Womenよこはま)	受入先名称	高津区市民健康の森を育てる会
プログラム名	国連ウィメン日本協会よこはま 途上国の女性を支援する活動を学び、PRするお手伝いをしよう！	プログラム名	身近なところに里山が！「高津区市民健康の森」の環境整備活動に参加しよう！！
活動の目標	「国連ウィメン日本協会よこはま」がイベント会場で配るチラシの企画や、途上国の女性がつくった商品販売する「ウィメンショップ」のレイアウトを交えたりPOPの作成をして、地域の人々に団体の活動を魅力的に伝えるお手伝いをすることで、途上国の女性を支援する活動について学び理解を深める。	活動の目標	身近な地域の里山を整備することで、地域環境を改善する
内容	【午前】 「国連ウィメン日本協会よこはま」の職員の方から団体の活動、ショップで販売されている途上国の女性たちがつくった衣料品や装飾品に関するお話を聞きます。その後、学生で商品のPOPや、イベントで配るチラシについて軽く意見交換します。 【午後】 ショップ内の商品につけるPOPを作成するグループ・団体の活動を紹介するチラシを企画するグループ・ショップのレイアウトを考え、動かすグループの3つのグループに分かれます。見るひにわかりやすい広告やレイアウトを目指します。 【雨天時のプログラム内容】 雨天決行、内容に変更なし。	内容	「高津区市民健康の森」の一つである、春日台公園の整備をします。おもに草刈・外来種草除去・花壇整美・散水といった作業です。 春日台公園は、高津区道「第三京浜」の脇にある公園です。学生の皆さんの近くにも、里山は存在します。 里山は、自然にできる「森」とは異なるものです。里山は、人が介入して初めて成り立つものです。 里山の樹木に日が当たるように木や竹を伐採し、その伐採した木や竹を炭に変え、または灰に変え、近隣地域の環境整備に再利用するなど、循環型社会の例を見ることが出来ます。 6月は雑草も多く生える時期ですので、里山の生態系維持のために、整備も必要となります。このような作業によって、里山はできているということをお学びいただける機会となります。 【雨天時のプログラム内容】 荒天の場合、延期します。
備考	【当日の持ち物、服装】 お弁当・筆記用具持参。ポスカやカラーペンなどがあると良い。 【昼食について】 各自持参。 【参加の注意点】 特になし	備考	【当日の持ち物、服装】 汚れてもいい服推奨。スカート不可。経験上、長いズボン類をお勧めします。水筒orペットボトルで多めの水分を。 【昼食について】 お昼頃解散予定ですので、昼食不要です。 【参加の注意点】 日焼け止めはしたほうがよいです。屋外での作業になります。1Dayのプログラムとは別に、里山保全の活動の一つとして蜜の鑑賞会を実施予定(時期は未定)ですので、希望者の方は一緒に参加しましょう。
このプログラムのおすすめポイント	「国連ウィメン日本協会よこはま」とは、途上国の女性の自立を支援し、世界中の女性のジェンダー平等のために活動するNGOです。国連ウィメンの活動内容の説明だけでなく、国連の仕事についても教えていただける予定です。またショップで販売されている途上国の女性がつくった衣料品や装飾品がどのような経緯でつくられているのかなど商品に関する知識や、その商品をつくらせている女性がいる国の状況について学べます。POP作成などを通して楽しみながら学びましょう！	このプログラムのおすすめポイント	都会の中の環境について学びたい！近所の公園の整備ってどうなるの？ボランティア初心者だけ大丈夫？そんなあなたにおススメの企画です。
リーダーから参加学生にむけて一言！	「国連ウィメン」という名前ですが、女子学生はもちろん男子学生も歓迎します！難しいことをやるわけではないので、ぜひ気軽に参加してください！国連の活動のひとつを見ることができるといった経験になります。ボランティアが初めてだという方も全く問題ないので一緒にやってみませんか？	リーダーから参加学生にむけて一言！	身近なものほど身近ではない、ということも多々あります。例えば、近所の公園。どんなことに使われているの？どんな管理がされているの？答えられないことはたくさんあることでしょう。「Do for Others」とは言いますが、「Others」は遠い「他者」でなくてもいいのです。身近なところから、誰かの、何かの役に立つことができる。それは、もう立派なことなのです。受入先の団体には、明学のOBの方もいらっしゃいます。私たちの先輩から、「Do for Others」を学びませんか？もちろん、ただ川が好きだから、公園が好きだから、という方の参加もお待ちしております。
<b>実施日程・募集人数</b>		<b>実施日程・募集人数</b>	
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全 1 回	参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全 1 回
募集人数	6人	募集人数	14人
リーダー学生	1人	リーダー学生	1人
参加学生数/合計	7人	参加学生数/合計	15人
第1回	日程A 6月21日 土曜日	第1回	日程A 6月14日 土曜日

プログラムNo.	21	プログラムNo.	22
<b>プログラム概要</b>		<b>プログラム概要</b>	
受入先名称	久地円筒分水サポートクラブ	受入先名称	見沼田んぼ福祉農園
プログラム名	住宅街にも国・登録有形文化財はある！円筒分水、広場の美化活動に参加しよう！！	プログラム名	「環境福祉」を感じよう！見沼田んぼ福祉農園
活動の目標	街の有形文化財を地域で守る活動に参加し、街の美化、ボランティアと行政の関わり、文化財を巡る地域の人々の想いを学ぶ	活動の目標	年齢・性別・障害の有無を超え、農園に集う多様な人々、それらを支え、育てる「土壌」を感じる。
内容	活動内容は、日本唯一の国登録円筒分水内のゴミ・藻・草除去といった清掃、および草刈り機を使用しての周辺芝生整備、外来種草除去、清掃です。 円筒分水とは、もともと農業用水を各地域に、正確に分水する水門のようなものです。戦前から利用され、戦後にはGHQの技師によってアメリカに紹介されたほどの優れた技術の結晶でした。しかし、現在、溝の口周辺は住宅街化し、農地はなくなってしまうため、円筒分水がその目的通りに利用されることはなくなりましたが、その技術の高さから、国の登録有形文化財に登録されました。 この「文化財」である円筒分水を守る活動に参加するのが、このプログラムです。 【雨天時のプログラム内容】 荒天の場合は延期します。	内容	6月の作業は、主に畑の除草と夏野菜の手入れが中心です。その他、野菜収穫、時期によっては薪の搬入、堆肥用の馬糞搬入などの作業があります。また、作業終了後、焚き火を囲む時間を設ける予定です。 【雨天時のプログラム内容】 刃物研ぎ、小屋の整理
備考	【当日の持ち物、服装】 汚れてもいい服推奨。スカート不可。経験上、長いズボン類をお勧めします。水筒orペットボトルで多めの水分を。 【昼食について】 お昼頃解散予定ですので、昼食不要です。 【参加の注意点】 日焼け止めはしたほうがよいです。屋外での作業になります。1Dayのプログラムとは別に、里山保全の活動の一つとして蜜の鑑賞会を実施予定(時期は未定)ですので、希望者の方は一緒に参加しましょう。	備考	【当日の持ち物、服装】 農作業できる服装、汚れてもいい運動靴、帽子、着替え、タオル、昼食代300円、バス代往復520円 【昼食について】 農園で昼食を作って食べます。 【参加の注意点】 作業には常に危険が伴います。農機具などを扱う際には、徹底した危機管理が大切です。また、熱中症対策のため、帽子を被り、こまめに水分を取りながらの作業を心がけましょう。こちらで麦茶を用意します。
このプログラムのおすすめポイント	都会の中の環境について学びたい！近所の文化財を守る活動って？ボランティア初心者だけ大丈夫？そんなあなたにおススメの企画です。	このプログラムのおすすめポイント	見沼田んぼ福祉農園ではお釜で炊いたお米を食べています。農作業で疲れた体に染み渡るその美味しさは格別です。また、焚き火の時間も設ける予定です。ひとりではじくと火を見つめるもよし、他の参加者と語らうのもよし。皆さんには今回の体験を頭だけではなく、体で感じてもらえると嬉しいです。
リーダーから参加学生にむけて一言！	身近なものほど身近ではない、ということも多々あります。例えば、近所の公園。どんなことに使われているの？どんな管理がされているの？答えられないことはたくさんあることでしょう。「Do for Others」とは言いますが、「Others」は遠い「他者」でなくてもいいのです。身近なところから、誰かの、何かの役に立つことができる。それは、もう立派なことなのです。受入先の団体には、明学のOBの方もいらっしゃいます。私たちの先輩から、「Do for Others」を学びませんか？もちろん、ただ川が好きだから、文化財を見てみたいから、という方の参加もお待ちしております。	リーダーから参加学生にむけて一言！	青空の下、風や土や緑を感じ、気持ちのよい汗をかきましょう！そして、埼玉を中心に多様な人々が集う、見沼田んぼ福祉農園が地域や人々に対して果たす役割を考えましょう！
<b>実施日程・募集人数</b>		<b>実施日程・募集人数</b>	
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全 1 回	参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全 1 回
募集人数	9人	募集人数	14人
リーダー学生	1人	リーダー学生	1人
参加学生数/合計	10人	参加学生数/合計	15人
第1回	日程A 6月21日 土曜日	第1回	日程A 6月14日 土曜日

プログラムNo.	23	プログラム概要				
受入先名称	特定非営利活動法人 Café dela Terra					
プログラム名	夏至Candle Night 2014 ～LOVE IS THE MOVEMENT～					
活動の目標	戸塚駅の善了寺を拠点に地域×学生×お寺が協力し、「人や自然とのつながり」を取り戻すためのスローなムーブメントを発信しよう！					
内容	Candle Night 2014運営のお手伝い。具体的には、受付、カフェ準備、キャンドル警備(火が消えてしまったものつけ直しなど)、キャンドルアートとキャンドルロードのお手伝いなどをします。また、運営のお手伝いをしながら、学生もイベントやゲストの方々のトークを楽しむことができます。これらを通して、このお寺の重視している「人や自然とのつながり」について、考えてみましょう。 [雨天時のプログラム内容] キャンドルアートとキャンドルロードが中止になります。					
備考	[当日の持ち物、服装] 浴衣での参加可(その場合はあらかじめ着付けてきてください)、マイカップ、箸、皿 [昼食について] 昼食はなし。夕食は各自軽食を持参するか、済ませてきてください。 [参加の注意点] 蚊が多いので虫除けスプレーがあると良いです。					
このプログラムのおすすめポイント	ボランティアをしながら、エコでスローな夜を綺麗なキャンドルと共に楽しんだり、「人や自然とのつながり」を考えるきっかけを与えてくれます。					
リーダーから参加学生にむけて一言！	忙しい毎日と離れて、落ち着いた夜を過ごすことができます。キャンドルアートの美しさは、あなたの想像を超えること間違いなし！					
実施日程・募集人数						
※参加回数 ※事前学習、学生顔合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月20日	金曜日	29人	1人	30人

プログラムNo.	24	プログラム概要				
受入先名称	特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター (JANIC)					
プログラム名	MDGsワークショップ 海外プロジェクト立案体験 ～貧困要因を考える～					
活動の目標	国際協力における特定非営利活動法人NGOセンター(JANIC)の活動を知り、興味関心を高めるとともに、今後の大学生活での社会貢献活動の第一歩を考える。					
内容	“NGOを支援するNGO”というコンセプトのもと活動するネットワーク型NGOのJANICでワークショップを行います。 ①JANIC入門セミナー 日本の国際協力NGOを支援し、NGOだけでなく企業や自治体などさまざまなセクターをつなぐJANICの取り組みについて説明して頂きます！ また、国連が2015年までに達成すべきとした国連ミレニアム開発目標(United Nations Millennium Development Goals: UN MDGs)についても学びます！ ②MDGsワークショップ 海外プロジェクト立案体験-貧困要因を考える- MDGsにまつわるあるエピソードを基にグループで貧困原因を考え、それらを解決するためのプロジェクト立案を体験します!!					
備考	[当日の持ち物、服装] 筆記用具・メモ帳・飲み物 服装は基本的に自由です(清潔感のあるもの)。TPOを考えて。 [昼食について] プログラム内では昼食はとりません。 [参加の注意点] 途中参加・遅刻はしないようこころがけてください。					
このプログラムのおすすめポイント	国際協力に興味がある！これから少しでも関わりたい！でも、どうしたらいいの？そんなみなさんにオススメです!! 日本のNGOを代表して国際会議にも出席し、日本最大規模のネットワークを持つJANICで、“MDGs”という世界的な取り組みについて学びます。 ワークショップを通じて具体的な何をすべきなのか、なにができるのかを考えます。大学生であるみなさんがこれから一歩踏み出すきっかけに！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	自分自身、国際協力に興味がありますが、どうやって関わっていくのか？大学にいるうちにどんなことをすればいいの？ととかか……総ざらみ中です(笑) リーダー学生として参加しますが、プログラムの中でみなさんといっしょ色々な話ができた方がいいな、と思っています。 これからの自分が一歩踏み出すきっかけにしましょう！					
実施日程・募集人数						
※参加回数 ※事前学習、学生顔合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月7日	土曜日	20人	1人	21人

プログラムNo.	25	プログラム概要				
受入先名称	日本赤十字社 神奈川県支部					
プログラム名	見る？知る？わかる！献血の基礎知識！やってみよう命をつなぐボランティア活動					
活動の目標	日本赤十字社ってそもそも何をすると？ 献血って毎日やるけど、そんなに血液足りないの？赤十字でボランティアってするならどうやるの？血液型ってわからないけど献血できるの？そんなわからない、をわかる！につなげるイベントにすること！					
内容	午前中:まずは勉強会をします。むずかしい内容ではなく、日本赤十字社がどんな事業をしているか、ボランティアはどんなことをしているのか、献血ではどんな機材を使うのか。などなど！ 午後: 献血をやってみたい人は実際に献血をすることができます。それから献血のPR活動を行います。予定では「献血ちゃん」という着ぐるみを着て広報したり、季節にあったコスチュームや飾りをつけて、日赤のボランティアと一緒にPRを盛り上げて広報をします。自分のセンスや興味を活かして活動していきます。					
備考	[当日の持ち物、服装] 動きやすい服装 お弁当、飲み物、筆記用具 着ぐるみを着る人はタオルと飲み物を余分に持ってくるとういかもしれません。 [昼食について] お弁当持参 [参加の注意点] 献血は必須ではありません。体調などがすぐれない場合やできない場合は遠慮なく教えてください。					
このプログラムのおすすめポイント	どんな広報をするか、どうやって人を呼ぶか、自分たちが企画して、決められる！ 大きな組織の方と一緒に広報を作っていく経験はなかなかできないので貴重な経験となり、自身のセンスを活かし成長させるチャンスとなります！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	日本赤十字社っていうと、なんだか関わりが難しそうって、思われがち。この際、どっぷりと浸かって、日本赤十字社って何をしているか、赤十字と学生ってどんな関わり方があるのか、知ってみませんか？他大学・学校のボランティアもいます。楽しく活動していきましょう！					
実施日程・募集人数						
※参加回数 ※事前学習、学生顔合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月15日	日曜日	14人	1人	15人

プログラムNo.	26	プログラム概要				
受入先名称	特定非営利活動法人 地球市民ACTかながわ/TPAK					
プログラム名	自分のできる国際協力の第一歩～チャリティーバザーで国際協力ボランティア～					
活動の目標	フェアトレードの販売を通して、自分のできる国際協力は何かを見つけよう！途上国の現状を理解し、活動が終わってからも途上国に関心をもち、自分のできることを探していけるような人材になろう！チャリティーフェアのその先に、途上国のこどもの幸せがあることを知り、1回限りではなく今後も関わっていこう！					
内容	<チャリティーバザーで国際協力ボランティア> 毎年出展している“横浜 開港祭”におけるチャリティーバザーの運営の補助。ブースに来場する一般市民の方に対して、当会の活動や途上国の現状、国際協力について啓発と紹介を行いながら、アジアのフェアトレード品等を販売します。ブースの開店から閉店までの業務を経験していただきます。活動紹介や販売接客など来場者へのコミュニケーション、販売ブースを売場にするために商品陳列方法や集客へのアイデアを出すなど、学生という立場に甘んじない積極的、主体的な姿勢が求められます。					
備考	[当日の持ち物、服装] 動きやすい服装(女子はハイヒール・短めスカートはNG) [昼食について] 各自で持参or周りの出展のお店で買う [参加の注意点] 時間厳守、一人ひとりとスタッフとしての自覚を持って行動！					
このプログラムのおすすめポイント	途上国の子どもたちのために何かしたい！という人にオススメです。国際協力についての知識も深まり、自分のできる国際協力の第一歩になると思います。					
リーダーから参加学生にむけて一言！	途上国の子どもたちの幸せのために何かしたい！と思っている学生さんには是非参加してほしいです！私たちが日本でできることは限られているかもしれませんが、この機会を通して自分たちができることを見つけて行きましょう！					
実施日程・募集人数						
※参加回数 ※事前学習、学生顔合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	5月31日	土曜日	4人	1人	5人

1Day for Others プログラム概要 【2】世界・環境を支える活動を体験！【ボランティア(国際協力・自然・環境など)】

プログラムNo.	27					
プログラム概要						
受入先名称	特定非営利活動法人 国際交流ハーティー港南台					
プログラム名	日本語教室で国際交流～日本語の学習&キッズケアを通してお互いの文化を知ろう～					
活動の目標	さまざまな国の人々とコミュニケーションをとるなかで、世界の文化を学ぶと共に、日本の良さを伝える。					
内容	さまざまな国の親子連れの方や、大人の方に日本語を教えます。主に、テキストを使った個別学習、発音練習、グループごとに分かれて対話の練習をします。また、親が勉強している間、子どもを預かります。キッズケアに関しては、手遊び歌をやったり、絵本や紙芝居を読んであげたりします。					
備考	[当日の持ち物、服装] 筆記用具、電子辞書(持っている人のみ)。活動しやすい服装。 [昼食について] お弁当持参 [参加の注意点] アクセサリーなど子どもに影響するものは、プログラム中は外してください。					
このプログラムのおすすめポイント	小さい子どもが好き！いろいろな国の人々と交流したい！日本にいながら世界の文化を身近に感じることができ、また日本語を教えるという貴重な機会を通して、改めて日本について考えることができると思います。					
リーダーから参加学生にむけて一言！	ボランティア先の方々みなさんとても優しい方なので、楽しく活動ができると思います。ボランティアが初めてという方にも、安心して参加できると思うので、ぜひ一緒に体験してみてくださいませるか？					
実施日程・募人数						
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全	1	回	募人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月13日	金曜日	7人	1人	8人

プログラムNo.	28					
プログラム概要						
受入先名称	特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン					
プログラム名	Take an action day!! ～インドに学校を建てよう～					
活動の目標	インドでの学校建設の資金を集めるためにフリーマーケットへ参加して、身近にできる子どもへの支援方法について考えよう！					
内容	今回、1Day for Othersの企画にご協力していただくフリー・ザ・チルドレン・ジャパンは「子どもの子どもによる子どものためのボランティア」を行っている団体です。その一環としてインドに学校を建てるための活動を行っています！インドでは、教育が欠乏していることからはじまる悪循環により、約50万人の児童労働者がいます。そうした状況を打開するために、教育が大事！学校を建てるという目標を立てました。 この学校建設プロジェクトは僕たちと同世代の人達が主体になって活動しGift(特技)+Issue(問題)=Change(変化)という方程式をモットーに、それぞれの特技を活かし楽しく世界を変えていくという活動です！何やら話が大きすぎて自分には...という方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし世界を変えるのは身近な活動から始まるのです。それをみなさんに知っていただくために5/31に池袋西口公園で開催されるフリーマーケットにボランティアとしてお手伝いします！！みなさんで着なくなった服などを持ち寄り、それを出品しインドに学校を建てるための資金を集めましょう！今回の目標金額は2万円で、収益の全てを学校建設のために使用します。また、企画を一から考えた大学生が今後も諦めずに活動を続け、最終的には学校建設資金として150万という大金を集める予定です。ボランティアが初めての方も周りの方がしっかりとフォローしてくれます！ぜひ参加してみてください！！					
備考	[当日の持ち物、服装] 動きやすい服装、あまり派手ではない服装 [昼食について] 各自持参 [参加の注意点] 時間厳守！当日はシフト制なので遅刻すると他の人に迷惑がかかります。					
このプログラムのおすすめポイント	ボランティア未経験者が難しいことを考えずに気軽に行えるボランティアです！フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは学生主体のボランティア団体なので同世代の人達とお話して絆の輪を広げたり、当日は法政大学や拓殖大学からもボランティアが参加したり！出店されている日本の数々のNPO法人の方たちもいらっしゃるの、さまざまな人々と交流できるいい機会でもあります。					
リーダーから参加学生にむけて一言！	1Day for Othersという企画はボランティアをしたことのない人が1日だけボランティアをするいわば「ボランティアのお話し服」です。ボランティア未体験の人大歓迎です！大学に入ってまだ何をしたらいいかわからない人はまず「ボランティア」を経験するのもアリでしょう！また友達を作りたいたい...などの方も大歓迎です！参加学生同士が交流できるような企画も用意しようと考えています。友達と一緒に参加したりしても楽しいですよ。その他どんな理由でボランティアに参加しても構いません。ボランティアは参加することに意味があるのです。みなさんが参加するのをお待ちしております！！					
実施日程・募人数						
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全	1	回	募人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	5月31日	土曜日	5人	1人	6人

プログラムNo.	29					
プログラム概要						
受入先名称	国際文化青年交換連盟日本委員会(ICYE JAPAN)					
プログラム名	世界の青年交流プログラムのお手伝いをしよう～ICYE JAPANの説明会準備と参加、オフィスの模様替え～					
活動の目標	「説明会準備と参加」「オフィスの模様替え」を通して、ICYEの異文化交流や国際協力ボランティアに関する活動について学び、理解を深めよう！					
内容	ICYE JAPANは、ヨーロッパ・アジア太平洋・アフリカ・中南米地域の40以上の加盟国において、青年たちの交換プログラムを展開している民間非営利団体です。事業として、長期派遣プログラム・短期派遣プログラム・来日生受け入れプログラム・各種国内イベント等を展開しています。長期派遣プログラムはICYE加盟の40各国、短期派遣プログラムは主に国際協力を目的としたボランティアを行う23各国で開催されています。当日の活動内容としては、午前中は海外派遣プログラムの説明会の準備をしてもらい、説明会にも出席します。午後にはオフィスのレイアウトをどのようにするか、どんな材料が必要かを話し合ってもらい、実際の作業に移ります。					
備考	[当日の持ち物、服装] 動きやすい服装・軍手 [昼食について] 昼食は各自持参するか、近くのコンビニで購入してもらいます。 [参加の注意点] 特になし					
このプログラムのおすすめポイント	これから、進路をきめる学生に、NPOの仕事や、社会的役割等、ICYEの方々がお答えしてくれます。また、インテリアが好きな方には、ぜひこのプログラムでそのセンスを活かして事務所を改善してほしいです！！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	午前中の説明会では、短期・長期の海外派遣プログラムの説明を、一緒に受けることができるので、少しでもそういうことに興味がある方はぜひ、参加してほしいです！また、事務所のレイアウトやインテリアをこれから学生達が決めるので、そういう事が好きな方はぜひ来てください！！					
実施日程・募人数						
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全	1	回	募人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月21日	土曜日	5人	1人	6人

プログラムNo.	30					
プログラム概要						
受入先名称	NPO iPledge					
プログラム名	エコライフ・フェア2014～身近なエコ活動について知ってみよう！～					
活動の目標	食器のリユース活動に参加し、エコ活動について新たな気づきを得たり、「考える」きっかけを見つけて！さらに、身近に出来るエコ活動の方法について知って、実践の仕方を身につけよう！					
内容	エコライフ・フェアは、毎年6月の環境月間に全国各地で開催する様々な行事の中の主たる行事の一つとして、1990年以来、環境省、関係地方公共団体、関連法人、業界団体、企業及びNGOが連携実施して行ってきたイベントです。イベントで発生するごみの多くは、飲食の際に捨てる使い捨て食器です。DRS(Dish Reuse System)は根本的にごみの原因となる使い捨て食器を一切使わず、洗って繰り返し使えるリユース食器を使用することで、ごみの大幅削減を実現するシステムです。私たちはその活動のお手伝いを行います。具体的には、イベントに参加し、その中で使用される「リユース容器」の貸出、使用済の食器の洗浄、リユース食器の使用・返却の呼びかけを行います。 [雨天時のプログラム内容] 基本的にイベントが中止にならない限り、実施します。					
備考	[当日の持ち物、服装] 野外での活動なので動きやすい服装と靴で参加してください。(スカート不可。サンダルやヒールは不可。靴はスニーカーがよい。) なるべくMy食器(お皿・お箸・コップ)を持参すること。 [昼食について] ひとり1食分の食券をもらえます。それ以外は個人で負担してください。 [参加の注意点] アクセサリーや腕時計、指輪ははずして下さい。ネイルや長すぎる爪は不可。					
このプログラムのおすすめポイント	まず何よりイベントに参加するので、来場者とコミュニケーションをとったり、初めて会う仲間と楽しく活動することができます！そしてひとりひとりの活動の積み重ねで、大きな感動を得ることができます！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	普段エコについてあまり意識していないそんなあなた！初めての方でも心配いりません。ぜひ、一緒に新しい体験をしてみませんか？みんなで楽しい1Dayにしましょう！					
実施日程・募人数						
プログラム実施回数	1		2			
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全	1	回	全	1	回
第1回	日程A	6月7日	土曜日	日程B	6月8日	日曜日
	募人数	リーダー学生	参加学生数/合計	募人数	リーダー学生	参加学生数/合計
	10人	1人	11人	10人	1人	11人

1Day for Others プログラム概要 【2】世界・環境を支える活動を体験！【ボランティア(国際協力・自然・環境など)】

プログラムNo.	31					
プログラム概要						
受入先名称	株式会社 大地を守る会					
プログラム名	100万人のキャンドルナイト～でんきを消して、スローな夜を。～					
活動の目標	スローライフ、省エネに触れながら、社会的責任を果たそうとしている企業の気持ちを知ろう。					
内容	「でんきを消して、スローな夜を。」夏夏の日にみんなで一緒にでんきを消してろうそくの火を灯し、ゆったりとした時間を過ごしたり、考え事をしたり、ただ2時間ででんきを消すことでゆるやかにつながろう。という100万人のキャンドルナイトのイベントのお手伝いをします。具体的には来場客の誘導、人員整理など「キャンドルナイトを実施しながらイベント事務局としての仕事を体験する」ような内容になります。さらに事前学習の時間を設けて、キャンドルナイトについて、スローライフや省エネについて、企業の社会的責任について知る機会を設けます。					
備考	[当日の持ち物、服装] 動きやすい服装。(短パン、サンダルは不可です。) 持ち物:筆記用具、傘、雨カッパ、タオル、着替え(雨や汗で濡れたとき用)、貴重品を持ち歩けるような小さなバックがあると便利です。 [昼食について] 各自済ませてきてください。 [参加の注意点]					
このプログラムのおすすめポイント	観客として参加するだけでも綺麗で感動するようなこのキャンドルナイトというイベントですが、そのイベントが開かれる意味、来てくださった人にどんないいことがあるのか、そんなことについても考えながら、キャンドルナイトのイベントを楽しむことができます。さらにこのイベントを運営している株式会社大地を守る会 の思い、企業の取り組みなど「裏側」を見ることが出来ます！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	スローライフと一緒に体験してみませんか？でんきを消して、スローな夜を。このスローガンの通り、ゆったりと自分の生活を振り返ったり何か考え事をしたり。そんなことができる機会がめったにないと思います。少しでも興味をもたせたいのでぜひ参加してください！					
実施日程・募集人数						
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月21日	土曜日	10人	1人	11人

プログラムNo.	32					
プログラム概要						
受入先名称	Y's farm					
プログラム名	米という「命」を感じよう 無農薬米作りの作業体験					
活動の目標	「田んぼで育つ」米をこの目で見る。そして農業についての知識を深める。					
内容	皆で田んぼに裸足ではいり、田んぼに生える雑草を手作業でやっつけます(楽しんでいきますよ！)。昼食ではとれたての野菜で、自由トッピングをしたピザを自分達で焼いていただきます。受入先の農家の方とお話しをしながら、昼食をいただきます。 [雨天時のプログラム内容] 小雨なら決行します(プログラムの変更はありません)。雨が激しい場合、予備の日に活動を行います。					
備考	[当日の持ち物、服装] 作業しやすく汚れてもいい服装(上は日焼け対策に長袖など露出の少ないもの、下はハーフパンツなど足を曲げるのが楽なものが良い)、交通費、移動用のサンダル(ビーチサンダルやウロックス。汚れてもいいものにして下さい。田んぼから出ると足は泥だらけです。田んぼから、足を洗う場所までの移動はこのサンダルを使います。)、貴重品袋、ビニール袋、タオル、帽子、また必要なら飲み物や軽食を持参してもよい。 [昼食について] 昼食代として当日300円を回収します。 [参加の注意点] 日焼け対策をしましょう。髪が長い方は泥がついてしまいますので、ゴムでまとめてください。爪を切っておきましょう。					
このプログラムのおすすめポイント	田んぼに入れます！私達にとってなくてはならない大切な「農」というものに直接関わることができる貴重な機会です。そしてきれいな緑の中で作業するのはきっと気持ちがいいですね。皆で楽しい、そして心休まる一日を過ごしませんか？					
リーダーから参加学生にむけて一言！	作業は自分にも上手くできるだろうか、難しいのだろうか、といった不安があると思います。大丈夫です。作業の内容は初めての方にも考慮されています。実はリーダーである自分も田んぼに入るのは初めてです。農家の方もとても温かい方なので安心して、どなたもお気軽に参加してください。お待ちしております！					
実施日程・募集人数						
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月14日	土曜日	14人	1人	15人

プログラムNo.	33					
プログラム概要						
受入先名称	特定非営利活動法人 かものほしプロジェクト					
プログラム名	【かものほしプロジェクト～児童買春問題を知ろう！～】					
活動の目標	講演やボランティア作業を通して、かものほしの理念や、児童買春の現状を少しでも理解する。					
内容	自主イベントである「昼かも」に参加し、スタッフからかものほしについてのプレゼンテーションをお聞きします。 この後に質疑応答などがありますので、聞きたいことは是非質問してください。 その後、みんなでランチを取り、ボランティア作業を行います。 昼食もボランティア作業もおしゃべりをしながらにぎやかに行うのがかものほし流なので、「昼かも」の質疑応答で聞けなかったことはこれらの時間を有効に使ってください。(ボランティア内容は未定です。分り次第お知らせします。) [雨天時のプログラム内容] 同様					
備考	事前課題として「旗手たちのアリア」(A41ページ半)を読んでもらい、かものほしプロジェクトとはどういったものなのかをざっくり学んでいただきます。こちらは学生顔合わせの際に配布しますので、当日までに読み込んでください。加えて、「闇の子どもたち」という映画または本をみなさんで見ましょう。こちらは必須ではないのですが、学生顔合わせのときに相談して日程を決めましょう。					
このプログラムのおすすめポイント	スタッフさんから直接お話を聞けるのは本当に貴重な機会です！ その後にボランティア作業に取り組んでいただくので、よりその作業に力が入ると思います。 また、同年代のインターン生なども参加するので気軽にたくさんのお話をしながら作業ができます！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	私はかものほしプロジェクトで半年間以上の長期インターンを行っています。児童買春の問題は知れば知るほど、心が痛くなる問題なのですが、日本・カンボジア・インドのスタッフ全員がこの問題の撲滅にむけて全力で日々業務に取り組んでおります。かものほしって？児童買春ってなに？など、全く知らない方でも大丈夫です！「何かしてみたいなあ」という気持ちがある人を大歓迎しています！！					
実施日程・募集人数						
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月14日	土曜日	10人	1人	11人

プログラムNo.	34					
プログラム概要						
受入先名称	山下農園					
プログラム名	みんな大好きトマトの出荷作業～実際に体験して学ぶ作業のおもしろさ～					
活動の目標	実際にトマトの出荷作業を体験し、トマトが出荷されるまでの過程と農作業の楽しさを学ぼう！！					
内容	普段、当たり前のようにスーパーなどの野菜売り場に売られている野菜。あなたはその野菜がどのように作られているのか、また作るのにどれくらいの時間がかかるのかを知っていますか？このプログラムでは、実際にトマトの出荷作業を体験し、トマトがお店や飲食店に出荷されるまでの過程を学ぶとともに、野菜作りの楽しさ・おもしろさを知ることができます。普段の日常生活では体験できない貴重な体験のため、実際に参加して一緒に学びましょう！！					
備考	[当日の持ち物、服装] 汚れてもいい服装、帽子、軍手、タオル、着替え [昼食について] 特に必要ありません。 [参加の注意点] 作業中に汗や土などで非常に汚れるため、必ず汚れても構わない服装で参加してください。					
このプログラムのおすすめポイント	日常生活で野菜の出荷作業なんて体験できませんよねっ！！このプログラムを実際に体験して野菜作りの過程とおもしろさを学び、かけがえのない経験しましょう！！これをきっかけに家庭菜園がやりたくなるかもしれませんよっ！！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	野菜が大好きな人、また実際に野菜の出荷作業をしてみたいっ！！という人におすすめ！！またこのプログラムに興味があるという人も大歓迎です！！みんなで一緒にかけがえのない体験にしましょう！お待ちしております！！					
実施日程・募集人数						
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月29日	日曜日	2人	1人	3人

プログラムNo.	35					
プログラム概要						
受入先名称	ミャンマー祭り実行委員会					
プログラム名	日本ミャンマー外交関係樹立60周年記念イベント「ミャンマー祭り2014」リアルなミャンマーをもっと身近に！キャラバン					
活動の目標	異文化交流を通じてミャンマーという国に興味を持ってもらいたい。また営業回りをを行う事でコミュニケーションスキルを養いましょう！					
内容	まず、オリエンテーションで、ミャンマーの現状やミャンマー祭りの果たす役割や意義などについての説明を聞きます。その後、ミャンマー人留学生とともに畜田馬場や大塚にあるミャンマー料理屋やNGO団体などをまわりミャンマー祭りでの飲食の屋台出店やNPO、NGOブース出展への営業と、イベント告知への協力の要請を行っていただきます。営業は、原則、参加学生2人1組で行います(事務局スタッフが補助で同行予定)。					
備考	〔当日の持ち物、服装〕 軽装 〔昼食について〕 昼食はなし。プログラム終了後、希望者はミャンマー料理店にて民族料理をいただきます(参加は任意。費用は自己負担。) 〔参加の注意点〕					
このプログラムのおすすめポイント	ご存知か分かりませんが今、ミャンマーという国が国際社会の中で大きな注目を浴びています！長い軍事政権に支配をされ国際社会からも孤立をしていたミャンマーですが、急速に民主化が進み、日本企業の多くがミャンマーの市場に進出をしています。その今流行りのミャンマーという国について興味をもつ、関係をつくれる良いきっかけになると思います。このイベントの実行委員には名譽会長である安倍昭恵首相夫人や、駐日ミャンマー大使など、様々な方と関わりを持つことが出来るチャンスがたくさんあります！イベント本番は10月18日、19日なのですがもしワンデーでイベントへの興味をさらに深めたら10月のイベント本番までボランティアとして関わっていただくことも可能です！また学生時代になかなか経験することが出来ない営業活動を行う事が出来ます。どのようになら相手方に良い印象を与えられるか、たくさん考えそれを実践することができ間違いなく良い経験になると思います！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	大きな会場を使い10万人規模で来場者が来るイベントです！(2013年実績 3万5千人)また、ミャンマーからアーティストが来日するライブステージや、交流写真展なども開催するほどに大きなイベントです！このようなイベントの運営に携われる機会などあったらありません！是非この機会に！基本的にはミャンマー祭り実行委員事務局の皆さんは和気あいあいとしてとても和やかです。またミャンマー人の方々は皆とてもユニークで楽しい方々ばかりです。そんな楽しくて優しい人たちとともにイベントをつくり上げてくださいませんか？					
実施日程・募集人数						
参加回数 ※事前学習、学生履合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月7日	土曜日	8人	1人	9人

プログラムNo.	36					
プログラム概要						
受入先名称	公益財団法人プラン・ジャパン					
プログラム名	世界の女の子の今と未来を考えよう！～途上国の女の子の現実と希望～					
活動の目標	途上国における女の子の今と未来について知ってもらい、私たちにも出来るアクションで更に多くの人に情報を発信してもらおう					
内容	●発展途上国の女の子のドキュメンタリー映画を見て世界で起こっている問題に触れる。 ●映画内の解説や映画だけでは分からなかったことの説明。 ●学校内で出来る世界の女の子を支援するためのアクションとはなにか、みんなで話し合ってみよう。 ●また1Dayの後にみなさんと考えたアイデアを学内で一緒に実行出来たら嬉しいですよ。					
備考	〔当日の持ち物、服装〕 カジュアルな服装・筆記用具 〔昼食について〕 各自持参してください。 〔参加の注意点〕					
このプログラムのおすすめポイント	途上国に住む女の子たちがどのような問題に直面しているのか、そして彼女たちの持つ可能性や希望が描かれている映画を見ることで今まで知らなかった世界が見えてきます。また日本にいながら途上国の女の子たちの未来を支えるお手伝いが出来ます。海外のボランティアや日本でも出来る海外と繋がった活動に興味のある方にお勧めです！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	発展途上国や女性問題と言われると難しく考えがちですが、私たちの行動可能な範囲で出来ることはたくさんあります！この機会にみんなで世界の女の子が夢見る未来のお手伝いしましょう！					
実施日程・募集人数						
参加回数 ※事前学習、学生履合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月19日	木曜日	20人	1人	21人

プログラムNo.	37					
プログラム概要						
受入先名称	ファイバーリサイクルネットワーク(FRN)					
プログラム名	きもの・洋服でリサイクル！環境団体「ファイバーリサイクルネットワーク(FRN)」の一日活動体験					
活動の目標	きものなど日本伝統の「衣文化(いぶんか)」に触れ、そのリサイクルについて学ぶことで、環境問題に関心を持ってもらうと共に、ファイバーリサイクルネットワークという団体の活動を体験し理解します。					
内容	午前中に、ファイバーリサイクルネットワーク団体のしくみ、概要についての説明を聞きます。その後、実際に活動内容を体験し、団体が行っている環境への貢献や自分の国が持っている着物文化の良さを知ってもらいます。仕事内容は、配達されてきた衣類を選び、それらを計量し、分類、値札をつけるなどです。 〔雨天時のプログラム内容〕 変わらず、同じプログラムを行う。					
備考	〔当日の持ち物、服装〕 持ち物は、筆記用具とエプロン。動きやすい格好で来て下さい。(ズボンやスニーカーなど)スカートやヒールの高い靴は不可。 〔昼食について〕 各自お弁当を持参してきてもらい、FRNの事務所の方々と一緒に食べます。 〔参加の注意点〕 上記の服装の注意点をよく確認してください。					
このプログラムのおすすめポイント	環境問題への取り組みにはさまざまな方法がありますが・・・ここでは着物や衣類に焦点を当てた環境への取り組みです。FRNのメンバーの方から聞くお話はとてもためになると思います。着物による可愛いデザインの小物やグッズだけでなく、リサイクルの幅の広さを知ることができ、とて驚かされたいくらいです！環境問題に関心がある方、着物・古着が好きな方におすすめです！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	普段、わたしたちの周りでは「環境問題が・・・」「リサイクルが・・・」とよく聞きますよね。でも、わたしたちが知っているよりも環境に対する取り組みはもっとたくさん、さまざまなジャンルがあるので！初めてのこの団体を訪れた時も、わたしは衣類のリサイクル方法は知りませんでしたし、お話を聞いて、気づくことが多かったです！また、FRNのメンバーの方もとても優しく、いつもと違ったコミュニケーションを体験することができるとも思います。^^今まで環境問題に関心なかった方も、新しい一面を見たい方もぜひぜひご参加ください！					
実施日程・募集人数						
参加回数 ※事前学習、学生履合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月8日	日曜日	7人	1人	8人

プログラムNo.	38					
プログラム概要						
受入先名称	特定非営利活動法人 アクションポート横浜					
プログラム名	あなたの知らない「ヨコハマ」を見てみよう！～横浜珍百景の旅&花時計の体験活動～					
活動の目標	アクションポート横浜のまちづくり活動を体験してもらい、横浜で学生が出来ることを知ってもらおう					
内容	●アクションポート横浜の活動紹介 ●花時計の整備活動:観光地みなとみらいにある日時計「花時計」の整備活動を体験します。 ●横浜珍百景の旅:みなとみらいー中華街を歩いてみよう！twitterとの連動システムで街歩きで撮った写真がWEB上のマップで見ることが出来ます！					
備考	〔当日の持ち物、服装〕 動きやすい服装、タオル、飲み物持参で参加してください。(スカート不可。靴はスニーカーがよい) 〔昼食について〕 持参してください。 〔参加の注意点〕					
このプログラムのおすすめポイント	横浜の新しい魅力を発見できるプログラムです。桜木町・ワールドポーターズ周辺の花壇を管理しているNPO団体 NPOかながわユースボランティアりんぐファクトリーが主催している「花時計」のお手伝いをする事で、足を運んだ人に癒しを与えるお手伝いが出来ます。また、昼食後に「横浜珍百景」で普段見落としていた横浜の新しい姿がみられるかもしれません！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	私自身大学から横浜に来たので、この機会に自分の知らなかった横浜を共に見つけたいと思います！					
実施日程・募集人数						
参加回数 ※事前学習、学生履合せを 除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月21日	土曜日	20人	1人	21人

プログラムNo.	39	プログラムNo.	40										
<b>プログラム概要</b>		<b>プログラム概要</b>											
受入先名称	横浜自然観察の森	受入先名称	特定非営利活動法人ACE										
プログラム名	自然の森へ、ホテル観察に出かけよう！	プログラム名	チョコレートで子どもたちを笑顔に！ ～「バレンタイン〜機」上映会！アフリカ出身の方によるユニークな語り！他にも面白そうなプログラムが盛りだくさん！～										
活動の目標	ホテルについて学ぶと同時に、自然環境の大切さに気づけるようになる。	活動の目標	アフリカはほかの国にも劣らない程、資源が豊富です。しかしこの国は貧困国として扱われています。…なぜでしょうか？ ACEの方からのお話、児童労働についてのドキュメンタリー映画、アフリカの方のお話、年の近い友人たちとの気軽な会話などを通して、貧困国の抱えている問題を理解します。参加者がその問題の解決に向けて共に考え、日々の生活の中で自分たちにできる何かを考えます。										
内容	横浜自然観察の森を訪問し、最初にレンジャーの方からホテルについてのお話を聴かせていただきます。その後、施設内の森を歩きながら自然に触れ、施設を訪れる方にホテルの物語が描かれた紙芝居の読み聞かせを行い、実際にホテルを鑑賞します。 [雨天時のプログラム内容] 雨天時は雨の具合によっては延期、もしくは決行。振替日は6月15日です。15日も雨天だった場合は、レンジャーの方からホテルについてのレクチャーをいただき、ワークシートやチラシの折り込みをお手伝いします。	内容	■プログラム内容 1. NGO団体「ACE」が支援するアフリカのガーナにおける児童労働をとりあげたドキュメンタリー映画「バレンタイン〜機」上映 2. 日本で暮らすアフリカ人(すばらしい方々！)が祖国の現状を語る 3. アイスブレイキング : 各グループごとにアフリカの方がまじり、自己紹介 4. グループディスカッション : フェアトレードでつくられたチョコを食べながら語り合う。グループごとにリーダーを作り、映画をみて感じたこと、それを見て自分たちが日々の生活の中でなにができるのかをかんじてもらい、今回のテーマである児童労働に対して、解決案をだします。5. グループごとで話したことをプレゼン発表。(といっても、そんな堅苦しい感じではなく、はなしあったことをそのまま話していただければ大丈夫です！！) 6. ACEのかたによる講評。 ■NGO団体「ACE」は児童労働をしている子どもたちの声をきき、「子どもの搾取に反対する行動(Action against Child Exploitation)」という名前をつけ「世界中のすべての子どもたちの権利が守られ、希望を持って、安心して暮らせる社会」を実現するために、1997年に学年有志が設立した。市民とともに行動し、児童労働の撤廃と予防に取り組んでいる国際協力NGO団体です。										
備考	[当日の持ち物、服装] 長袖、長ズボン、レインブーツを着用し、肌が露出せず、水辺で活動できる服装で参加してください。 [夕食について] プログラム中に、夕食の時間を設けていません。プログラム終了後に各自済ませてください。(軽食であれば食べていただく時間はあります。) [参加の注意点] 虫に刺される可能性がありますので、肌が出さない服装で参加してください。靴もレインブーツなど、水辺で活動できるものを着用してください。	備考	■当日の持ち物 : 筆記用具のみ ■服装 : 自由 ■チョコレート試食 : 100円徴収										
このプログラムのおすすめポイント	ホテルが生息できる環境はとでも限られていますが、その環境が横浜市にも存在しています。わたしたち明治学院大学横浜キャンパスの隣にも舞岡公園をはじめとする自然が沢山ありますが、このプログラムに参加してホテルを鑑賞すると同時に、わたしたち身の回りの環境について考えるきっかけになるはずです。是非このプログラムに参加して、いろいろな人と交流し、自然を体感しましょう。	このプログラムのおすすめポイント	このプログラムは他のプログラムに負けないういお勧めポイントがめっちゃくちゃあります。フェアトレードチョコの試食。横浜校舎で4、5限のみで1Dayができる。ACE制作のドキュメンタリー映画がみられる。わきあいあいとするので他学部にも友達かふえる。ゲストにアフリカの方を何人が招くので、国際交流もできる。人脈作りもできるかも。この中で一つでもひかれるワードがあったら絶対来なきゃソン！！										
リーダーから参加学生にむけて一言！	このプログラムのリーダーになって、はじめて横浜市内にホテルが生息できる環境があると知りました。ボランティアをしたことがない学生も、普段からボランティアをしている学生も、環境を考えている人も是非参加してみてください。また紙芝居の読み聞かせを通して、地域の人とも交流しましょう。ホテルの夜間鑑賞で自然を体感し、何か新しいものを発見しましょう。	リーダーから参加学生にむけて一言！	このプログラムには様々な可能性があります！！「児童労働」というテーマを目にして、興味がない、難しそうって思ったそのあなた。そんなことはありません！国際協力というテーマを想像だにしないプログラム内容に話こみました。参加するか、しないかはプログラム内容をみてから決めてください！										
<b>実施日程・募集人数</b>			<b>実施日程・募集人数</b>										
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計	参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月14日	土曜日	4人	1人	5人	第1回	日程A	6月26日	木曜日	15人	2人	17人